

課題整理表(平成27年度 第1回相談支援ワーキング)

大項目	中項目	小項目	課題	地域生活支援部会での議論
障害児	連携	関係機関との連携		第2回で児童福祉の相談窓口、ネットワークについて共有。 就学後の連携は大きな課題。 ・学校との連携 →第3回で教育委員会と教育現場の課題共有。 ・第1・4回で18歳移行時の課題共有。
		特別支援保育(障害児保育)入所調整	特別支援保育(障害児保育)入所調整時	
	窓口		制度によって窓口が異なりわかりにくい(市民・機関とも)	第1回部会で現状を共有。子育て支援コーディネーター・就学相談窓口について共有。
		相談窓口1本化	HC、地福が別築、人員体制等課題有	
		決定窓口の一本化		
	子ども相談所の現状	障害児相談の限定	施設入所と療育手帳判定業務	
	放課後等デイサービス		質と研修や支援体制の整備	
			支給決定期間の問題	第1回部会でガイドラインがなく月31日決定していることが課題に。→ガイドライン月23日に。
			連携の必要性	
	研修	児童に関する研修	対象は、基幹、ヘルパー等	
障害児支援等関係機関連絡会		地福、基幹の参加は	8月部会後に、基幹cが傍聴し10月部会時に報告。	

部会を通じて明らかになった課題

・家族へのアプローチ	長く預かってもらえる放デイを求めている現状と、家族のニーズにそった計画になっており、家族の養育能力を低下させている側面もあり。
・教育との連携	先生が多忙なため連携が難しい現状。